

TOEIC対策単語テストのための語彙学習方略の 効果検証（実践報告）

原 めぐみ

A Study of the Effects of Different Vocabulary Learning Strategies for TOEIC Vocabulary Building Quizzes

Megumi HARA

1. はじめに

2018年度は国際教養学科の新カリキュラム導入後2年目の年となり、初年度の問題点を改善するために、英語必修科目に関していくつかの変更を行った。一つ目は、初年度より高い TOEIC スコアアップを目標に、TOEIC に特化した「English for Qualification」の授業を週に1回から2回に増やした。次に、初年度は1年生の英語必修科目のコア科目である「Reading」「Writing」において、約150名を習熟度別でクラス分けを行っていたが、共通化した内容・評価で授業をすすめていくために、2年目は4月の入学時に行った TOEIC Bridge のスコアを基に各クラスの平均点がほぼ同じになるようなクラス編成を行った。さらに個々の学生の状況をより深く理解した上で、学習指導を行うために「Reading」「Writing」については専任教員が同じ学生を週に2回担当することにした。

2. 問題と目的

新カリキュラム初年度の学生の TOEIC スコアは、スプリング・セッション（全員短期留学）後の2年生7月には平均412点と大きく伸びたものの、1年生の12月の平均は345点にとどまった。スプリング・セッションに出発するまでにいかに英語力をつけるのかということが初年度の課題となった。そこで、「Reading」「Writing」の授業においても TOEIC スコアアップを意識させるために、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』を使用し、4クラス共通で単語テストを毎回の授業で実施することになった。2017年度入学生と2018年度入学生の TOEIC スコアの

平均点を表 1 に示す。

本研究の目的は、TOEIC 対策の単語テストに向けた 4 種の授業内単語学習方法を比較し、どの方法が学生にとって効果的であったかを検証することである。そのために、毎回の授業の単語テストに加え、単語の定着度合いを分析するために 1 年に 6 回の復習テストを実施した。さらに、1 年生最後に単語学習に関する質問紙調査も実施した。これらの結果を分析した上で、今後より効果的な授業内単語学習を実施することを本研究の目標とする。

表 1：2017・2018 年度入学生 TOEIC 平均点

	2017年4月	2017年7月	2017年12月	2018年4月	2018年7月
2017年度入学生平均TOEICスコア	296.8	317.7	345.6	353.1	412.7
	2018年4月	2018年7月	2018年12月	2019年4月	2019年7月
2018年度入学生平均TOEICスコア	310.2	348.8	380.0	386.7	422.6

4月はTOEIC Bridge受験のため、TOEICスコアに換算したもの

3. 研究の背景

Nation（2008）は、語彙指導の問題点は 1 回の指導で数少ない単語数しか教えることができないこと、さらに単語の部分的側面しか教えることができないため効率が悪いと言う点であると述べている。さらに Nation（2008）は、一方で語彙指導の良い点は、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングなどの内容に焦点を置いた学習の際には、学習者に必要な語彙の意味を与えることによって内容の理解を促すことができるということ点であるとし、語彙指導において指導者が気をつけるべきことは、どの語彙を指導するかということ、どの指導方法を用いるかということであると述べている。本研究では、どの語彙を指導するかという点に関しては、TOEIC に頻繁に出題される単語だけを集めた『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』を使用しており、どの指導方法を用いるかという点に関しては、次の 4 つの方法（1. 画像 2. 会話文 3. 英英辞書 4. Quizlet）を使用した。それぞれの方法の先行研究についてまとめる。

3.1 画像を使用した先行研究

Oxford& Crookall（1990）は、私たちは普段から標識や看板などのような視覚的なものから意味を想像することがあり、学習する単語に関連する心の中のイメージや絵を思い浮かべることが学習者の理解を助けると述べている。実際に長谷川（2006）の大学生を対象にした 4 つの方法（ゲーム制、コンテキスト、音声、画像）を使用した英単語学習用システムの開発に関する研究では、画像による学習は、英単語と画像の関連付けによる効果や反復性による効果があり、最も良い結果が出たことがわかった。

3.2 会話文（文脈）を使用した先行研究

上記の長谷川（2006）の同じ研究からは、コンテキスト（文脈）を使用した単語学習は、文章を読むために英単語を覚える時間が短くなってしまい、学習効果が低いという結果が出ている。しかし、文脈で覚えることで正しい単語の使い方がわかり、文脈を思い出すことで、意味を覚えることができるという声もあったと述べている。

3.3 辞書を使用した先行研究

英英辞書を使用した語彙指導の例としては、金志（2017）のように、英英辞書の定義の部分を日本語の意味と比較をすることによって、単語の定着の指導に使用した例がある。しかし、本研究のように英英辞書の例文を使用した先行研究の例は見あたらなかった。

3.4 Quizlet を使用した先行研究

Humphreys（2017）の大学生を対象にした研究では、単語カードで学習したグループと Quizlet を使用したグループを比較すると、Quizlet を使用したグループの方が事後テストの点数が高いことを明らかにしている。

4. 研究の方法

4.1 研究の流れ

研究の流れを表2に示す。4月のTOEIC Bridgeのスコア、7月と12月に行ったTOEICスコア、6回の復習テストの結果から学生の単語力の伸びを分析する。学生が回答した質問紙調査結果もデータとして収集し分析する。質問紙調査を資料1に示す。質問紙には、「単語を学習する際、どのような方法を使用しますか。具体的に書いて下さい。」という自由記述形式が1問、単語学習方法を評価する質問が6問ある。6問の選択形式の質問には5段階の段階評定で回答させた。

表2：研究の流れ

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
質問紙調査									①
単語学習の方法		画像		会話文		英英辞書		Quizlet	
復習テスト		①	②	③	④	⑤		⑥	
TOEIC単語テスト	1	～		23 回	24	～		50 回	
TOEIC受験回数		TOEIC Bridge		TOEIC				TOEIC	

4.2 調査対象

調査の対象とした学生は、国際教養学科に属する 1 年生のうち筆者の「Reading」「Writing」を履修している 38 名の学生である。習熟度別に編成されたクラスではないため他の 3 クラスと英語力の差異はない。

4.3 授業実践

1 週間に 2 回の必修科目「Reading」「Writing」において春学期 23 回秋学期 27 回計 50 回の単語テストを行った。単語テストは『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』の 4 頁分にあたる 20 単語から 10 の単語を選んで出題した。出題形式は、金のフレーズに記載されている形式と同じ形式を使用した。例えば、a job o () (仕事の空き) という問いに対して opening と書き入れるという形式である。1 回分のテストを資料 2 に示す。授業内で次のテスト範囲の単語を 4 つの方法 (1. 画像 2. 会話文 3. 英英辞書 4. Quizlet) で学習した。4 つの単語学習の方法を次に詳しく示す。

4.3.1 画像を使用した学習

学習する単語の画像を Google で検索し、学生が該当の単語を連想しやすい簡略化された画像を選び、パワーポイントを作成した。まずは画像だけを見せ、次のテスト範囲の 20 の単語からどの単語が当てはまるか考えさせた。その後、例のように単語と画像を同時に示し、発音の練習も行った。

例：award



contract



4.3.2 会話文を使用した学習

筆者がテスト範囲の 20 の単語から 5 つの単語を選び、会話文を作成し、授業内で学生が文脈を考えながら () に入る単語を当てはめた。解答をチェックし、会話が完成した後に、ペアで会話を練習させた。文脈を用いた単語学習の先行研究では、文章を読むために時間がかかってしまうことがわかっていたので、本研究では文章ではなく簡単な会話文を使用することにした。

例：

A : I am going to (1) an event.

B : What kind of event is that?

A : We will offer a (2) tour of (3) figures.

B : Where is it taking place?

A : In Kyoto.

B : I guess Kyoto is an (4) place for that.

A : I hope this event will be a special (5) .

(答え：1 organize 2 guided 3 historical 4 ideal 5 occasion)

4.3.3 英英辞書を使用した学習

次の単語テストの範囲の 20 語の単語からペアでオンライン上の Merriam Webster Dictionary を使って単語を調べ、辞書に書いてある例文を黒板に書かせた。そして他のペアが書いた文の意味を考え発表させた。Merriam Webster Dictionary は無料のアプリもあるため、普段から教科書本文の単語調べにも使用している。

例：

“evaluate”

“We need to evaluate our options.”

“accommodation”

“They weren't sure if they could provide food and accommodations for the whole group.”

4.3.4 Quizlet を使用した学習

Quizlet は、オンライン上の（アプリもある）単語学習システムであり、学生は登録のみで無料で使用することができる。教員も無料で使用することも出来るが、年間¥4,100 で先生機能を有することができ、先生機能では、学生の学習状況を見ることができる。

テスト範囲の単語を入力すると、その語の意味の候補が日本語・英語（その他の言語もある）や画像が自動で表示される。その中から適切なものを選択し、独自の学習セットを作成することができる。次にクラスを作成し、学生がクラスに登録する。そのクラスに自分の作成した学習セットを公開することができる。この機能を使用し、単語テストまでに授業外で次回テスト範囲の単語を Quizlet でスマートフォンを使用して学習するように指示した。Quizlet 学習セットの画面の例を次に示す。

Quizlet 学習セットの画面

voluntary	of your own free will or design		★ 🔊 ✎
commuter	a person who travels regularly between home and work		★ 🔊 ✎
on-site	location		★ 🔊 ✎
contractor	private supplier		★ 🔊 ✎
fabric	textile		★ 🔊 ✎

スマートフォンでできる Quizlet の学習方法は、学習、単語カード、筆記、音声チャレンジ、テスト、マッチの 6 種類ある。先生機能からクラスの進捗をクリックすると、どの学生がどの学習を行ったかチェックすることができる。下の画像の黒くなっているところが終了した学習である。何回でも好きな学習を行うことができるようになっている。

Quizlet のクラスの学習状況画面

学生 1	 学習	 単語カード	 筆記	 音声チャレンジ	 テスト	 マッチ
学生 2	 学習	 単語カード	 筆記	 音声チャレンジ	 テスト	 マッチ
学生 3	 学習	 単語カード	 筆記	 音声チャレンジ	 テスト	 マッチ
学生 4	 学習	 単語カード	 筆記	 音声チャレンジ	 テスト	 マッチ
学生 5	 学習	 単語カード	 筆記	 音声チャレンジ	 テスト	 マッチ
学生 6	 学習	 単語カード	 筆記	 音声チャレンジ	 テスト	 マッチ

さらに、Quizlet には Quizlet Live という機能がある。授業内で参加コードを共有することで、学生が参加登録できる。参加した学生はランダムにグループに割り振られ、グループ共同で問題に取り組み、順位を競う機能である。グループ内の誰か 1 人のみが正解を持っているため、協力して行う必要がある。下の写真は、学生が 3 人グループでスマートフォンを使用しながら一緒に問題を解いているところである。デスクトップの画面を見ると、どのチームがリードしているかわかるようになっている。授業の最初に参加コードを共有するため、遅れてきた学生は Quizlet Live に途中から参加することができない。その結果、遅れてくる学生が減るという効果もあった。

授業内で Quizlet Live に取り組んでいる様子



5. 結果と考察

5.1 6 回の復習テストの結果

復習テストは通常の単語テストの 6 回分をまとめ、同じ形式で 30 問出題した。実際の復習テストを資料 3 に、復習テストの結果の平均点を表 3 に示す。結果は平均点の高い順に、1. 画像 (17.0) 2. 英英辞書 (13.7) 3. 会話文 (11.5) 4. Quizlet (8.6) となった (表 3、表 4)。復習テストの結果から判断する限りでは、画像による学習が一番効果的な学習方法であったと言える。しかし、復習テスト 1-3 が 600 点レベルの単語であったのに対し、復習テスト 4-5 は難易度が 730 点レベルに上がり、復習テスト 6 は 860 点レベルの単語となっている。単語の難易度が異なるため、学習方法だけの要因では判断することが難しい。復習テストの結果だけではなく、学生がどの学習方法を効果的であるかと判断したかについては次の質問紙調査の結果で示す。

表3：復習テスト平均点

	単語学習方法	n	平均	2つのテストの平均
復習テスト1	画像	32	17.6	17.0
復習テスト2	画像	30	16.4	
復習テスト3	会話文	32	13.6	11.5
復習テスト4	会話文	27	9.3	
復習テスト5	英英辞書	21	13.7	
復習テスト6	Quizlet	24	8.6	

5.2 選択式質問項目の結果

秋学期授業最終日に行った質問紙調査には、31の回答があった。6問の選択形式の質問には、「5 思う」「4 少し思う」「3 どちらでもない」「2 あまりそう思わない」「1 そう思わない」で回答させた。この質問紙調査を資料1に示す。授業で行った単語テストを評価するQ1「TOEIC 単語テストで単語力がついた」という質問の平均値は3.77であり、21人（67.7%）が「5 思う」「4 少し思う」と答えた。テストがあることで語彙力がついたと感じた学生が7割近くいたことがわかる。

単語学習の方法を評価するQ2, Q3, Q4, Q5「～をつかった単語学習はTOEIC 単語テストに効果的だった」という問いの平均値は、高い順に1.Quizlet（4.45）、2. 画像（4.06）、3. 英英辞書（3.55）、4. 会話文（3.48）となった（表4）。学生はQuizletが最も効果的であると評価したことが確認できた。Quizletのどのような点が効果的であると感じたかについては、次の自由記述回答の結果で示す。

5.3 自由記述回答の結果

質問紙調査の「単語を学習する際、どのような方法を使用しますか。具体的に書いて下さい。」という問いには、「Quizlet」に関する記述が7件、「赤シート」が6件、「画像」が2件あった。

「Quizlet」に関する記述の例：

- ・「Quizletを使って覚えるまで何回もします。」
- ・「Quizletで何回か単語を見て、その後Quizletのテストをして勉強していた。」
- ・「Quizletの単語カードとマッチをやる。」

「赤シート」に関する記述の例：

- ・「ひたすら赤シートで隠して覚える。赤シートを使いながらそら書きする。最後に赤シートで隠して単語を書く。」
- ・「赤シートで何回も繰り返し単語を学習する。」

「画像」に関する記述の例：

- ・「画像を使った単語を覚える方法と Quizlet のマッチが良かったです。」
- ・「画像を使った方法で絵などを見て学習するのが頭に入ってきやすい。しかし、高校時代などの単語帳をひたすら見るというのに慣れているのでそれが一番やりやすいのかもしれない。」

単語を学習する方法として、Quizlet に関する記述が最も多く、Quizlet の機能の中でも「マッチ」の機能を使用しているという記述が 2 件あった。「マッチ」の機能は単語とその定義を出来るだけ早くマッチングさせながら学習する機能である。「マッチ」の所要時間が個人のタイムとして表示され、クラス内のランキングがわかるようになっている。「マッチ」はゲーム性が高いため、繰り返し学習することができたと推察される。

一方、Quizlet という新しい学習方法を導入したにもかかわらず、個人で単語学習をする際には、高校からの「赤シート」を使用して隠しながら暗記する学習習慣を続けている学生が一定数いることもわかった。「赤シート」や「覚える」という語と共に「ひたすら」という記述が 7 件もあり、単語学習の方法はひたすら見たり、書いたりして覚えるという苦行のような方法が定着しており、大学生になってもその方法を継続している学生が多いことがわかった。このような単語帳を使用したひたすら暗記する意図的学習だけではなく、大学では英語の本や映画を見ているときに単語を学習する付随的学習もバランスよく行うよう、指導が必要であると思われる。

5.4 効果的な単語学習方法の順位

復習テストおよび質問紙調査と自由記述回答の順位結果のまとめを表 4 に示す。これらの結果から、本研究では 2 つの結果で 1 位となった Quizlet が最も効果的な単語学習方法であると結論づけられる。Quizlet の利点は授業内外で使用することができ、自分のペースに合わせて、繰り返しゲーム感覚でスマートフォンを使って学習できる点である。Quizlet の復習テストの平均点が低い理由は、学習した単語の難易度が 860 点レベルの単語であったためであると思われる。本研究の対象学生の TOEIC 平均点は 300 点台であるため、テスト範囲の 860 点レベルの単語 20 語がすべて未知語だったと推測できる。次に効果があった学習方法は、復習テストの平均点が他の学習方法と比較すると高かったことから、画像での学習であると判断できる。

会話文による単語学習は英語が不得意な学生にとっては、会話文を理解すること、テスト範囲の単語の意味を定着させることの 2 つの付加がかかっており難しかったと考えられる。

この結果は中池（2004）の文脈学習と機械的学習の比較と同じ結果になった。中池（2004）の実践結果でも、「単語以外の情報が余分な情報となり、単語のそのものの暗記の妨げになっているようである。」と結論づけられている。

英英辞書を使用した単語学習も同様に、定義も例文も英語になり、英語の量が増え、例文の和訳がないため、難しいという印象が払拭されなかった。英英辞書を使用することでその単語の使用方法やコロケーションなどを理解することができるという利点があるが、TOEIC では受容語彙知識のみで解答できる問題がほとんどであるため、TOEIC のスコアアップという目的には適していなかった。会話文や英英辞書を用いた学習方法は 2 年次以降の学生、あるいは TOEIC スコアが 500 点以上の学生には効果があると推測される。相澤・望月（2010）は「学習用の英英辞書を利用するには、2000 語から 3000 語の語彙力が必要で、それがあれば単語の意味をよりつかみやすくなる」と述べている。

表 4：効果的な学習方法の順位

	復習テストの結果	質問紙調査の結果	自由記述の結果
1	画像	Quizlet	Quizlet
2	英英辞書	画像	赤シート
3	会話文	英英辞書	画像
4	Quizlet	会話文	

5.5 TOEIC テストの結果

2017 年度入学生と 2018 年度入学生の 1 年次の TOEIC スコアの平均点を表 5 に示す。12 月の時点で、4 月から 12 月のスコア伸びが 2018 年度入学生は 69.8 点と 2017 年度入学生と比べ、13.5 点高くなった。平均スコアも 380.0 点と 345.6 点と比べ、2018 年度入学生の方が 2017 年度入学生よりも 34.4 点高い。TOEIC スコアの結果だけを見ると、2018 年度入学生の方が、1 年次での達成度が高かったと言える。カリキュラム 2 年目の変更点、「English for Qualification」の回数の追加、英語必修科目の共通化、TOEIC 単語テストの実施などが機能したことが要因であると考えられる。

表 5：2017・2018 年度入学生 TOEIC 平均点

	2017年4月	2017年12月	4月と12月のスコアの差
2017年度入学生	296.8	345.6	56.3
	2018年4月	2018年12月	
2018年度入学生	310.2	380.0	69.8

4月はTOEIC Bridge受験のため、TOEICスコアに換算したもの

6. 課 題

本研究では、4種の授業内単語学習方法の効果を検証することを目標にしていたが、単語の難易度の違いという要因があったため、効果の検証という点では限界があった。今後は、単語の難易度が同じ条件で単語学習の効果検証をすることや学生の英語力の段階に応じた授業内単語学習の方法を見つけることが課題である。

もう一つの課題は、単語テストの形式を再考することである。TOEICの回答方式は記述式ではなくマークシートであるため、必ずしも正しいスペルが書けることは必要ではない。TOEICのスコアアップが目標であるならば、スペルを書く形式のテストは、中田（2019）の学習の状況とテストの状況が近ければ近いほど学習効果が高くなるという「学習・テストの一致原則」に反している。TOEICの出題形式に準じ、スペルを記述する形式ではなく、短時間でできる単語テストの形式を考案する必要があることが課題である。

参考文献

- 相澤一美・望月正道（2010）.『英語語彙指導の実践アイデア集』大修館書店.
- 長谷川和則・金子敬一・都田青子（2006）.「異なる方式に基づく英単語学習用システムの開発と評価」コンピュータと教育『情報処理学会研究報告コンピュータと教育（CE）』74:25-32.
https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=54175&item_no=1&page_id=13&block_id=8
- Humphreys Ben（2017）. An investigation into the effectiveness of using ICT vs. word cards to study and learn English vocabulary 大手前大学国際教育インスティテュート『Journal of Research and Pedagogy of Otemae university Institute of International Education』3:45-59.
https://otemae.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=1553&item_no=1&page_id=33&block_id=62
- 金志佳代子（2017）.「自律した語彙学習につながる英英辞書の効用」兵庫県立大学神戸商科キャンパス学術研究会『人文論集』52:49-61.
- Nation I.S.P.（1990）. *Teaching & Learning Vocabulary*. New York: Newbury House Publishers.
- Nation I.S.P.（2008）. *Teaching vocabulary: Strategies and techniques*. New York: Thomson Heinle.
- Merriam Webster Dictionary
<https://www.merriam-webster.com/>
- 水本篤（2017）.「語彙学習方略—理論と実践—」KELES『KELES ジャーナル』2巻：44-49.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/keles/2/0/2_44/_pdf
- 中池宏行（2004）.「学習方法の違いによる語彙習得率の比較研究」EIKEN『EIKEN BULLETIN』16：174-180.
https://www.eiken.or.jp/center_for_research/list_1/16/
- 中田達也（2019）.『英単語学習の科学』研究社.
- Oxford, R., & Crookall, D.（1990）. Vocabulary Learning: A Critical Analysis of Techniques. TESL『TESL Canada Journal』7（2）：9-30.

<https://doi.org/10.18806/tesl.v7i2.566>

Quizlet

<https://quizlet.com/ja>

武田采子 池頭純子 齋藤真弓（2008）.「リメディアル教育における英単語テスト活用に関する考察（短期大学英語科における実践）」リメディアル教育研究『リメディアル教育研究』第3巻第2号：162-168.

TEX 加藤（2017）.『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』朝日新聞出版.

資料 1

単語学習に関するアンケート調査

国際教養学科		

1. TOEIC 単語テストで単語力がついた。

5	4	3	2	1
そう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

2. (春学期) 単語に関する画像を使った単語学習は TOEIC 単語テストに効果的だった。

5	4	3	2	1
そう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

3. (春学期) 会話文を使った単語学習は TOEIC 単語テストに効果的だった。

5	4	3	2	1
そう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

4. (秋学期) 辞書の例文を使った単語学習は TOEIC 単語テストに効果的だった。

5	4	3	2	1
そう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

5. (秋学期) Quizlet を使った単語学習は TOEIC 単語テストに効果的だった。

5	4	3	2	1
そう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

6. (春・秋学期) Worksheet を使った単語学習は Unit 単語テストに効果的だった。

5	4	3	2	1
そう思う	少しそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

7. 単語を学習する際、どのような方法を使用しますか。具体的に書いて下さい。

資料 2

TOEIC 単語テスト (1) 範囲 1 ～ 20

空所に適切な英語を入れなさい。解答は解答欄にすること

1. Please (r) to that. (それを参照してください)
2. the sales (d) (営業部)
3. a large (c) room (大きな会議室)
4. What does he (o) to do? (彼は何をすることを申し出ているか)
5. (l) businesses (地元の会社)
6. (p) tickets (チケットを購入する)
7. a job (o) (仕事の空き)
8. (c) project (建設プロジェクト)
9. market (r) (市場調査)
10. change a (d) date (配達日を変更する)

解答

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

資料3

TOEIC Review Quiz (1) 範囲 1 回～ 12 回 (Words 1-120)

空所に適切な英語を入れなさい。解答は解答欄にすること

1. What does he (o) to do?
(彼は何をすることを申し出ているか)
2. a large (c) room (大きな会議室)
3. the sales (d) (営業部)
4. (c) project (建設プロジェクト)
5. a job (o) (仕事の空き)
6. (a) the winners (入賞者を発表する)
7. request (a) staff (追加のスタッフを要請する)
8. an (i) in sales (売り上げの増加)
9. a family-owned (f) (家族経営の会社)
10. (f) support (お金の支援)
11. a Q&A (s) (質疑応答の時間)
12. a (c) store (衣料品店)
13. (p) an order (注文を処理する)
14. a travel (a) (旅行代理店)
15. sign up for (m) (会員登録する)
16. a research (f) (研究施設)
17. (e) service (素晴らしいサービス)
18. public (t) (公共の交通機関)
19. review a (p) (提案に目を通す)
20. office (s) s (オフィス用品)
21. a three-year (w) (3 年保証)
22. the (d) for the project
(プロジェクトの締め切り)
23. (a) a meeting (会議の手配をする)
24. local (r) s (地元の住民)
25. (r) parts (交換部品)
26. (r) increase (家賃の値上げ)
27. a (l) company (トップの会社)
28. an art (e) (美術展)
29. employee (b) (従業員の福利厚生)
30. for a (l) time (期間限定で)

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	